

平成27年度 食育推進事業 実施状況（平成28年3月末現在）

参考資料

《基本目標》 食べる力をみんなでアップ！ ～みんなでおいしく楽しく食べよう～

推進の柱	取り組みの方向性	ページ数
① 食を通じた健康づくりを 実践しよう	①-A 市民，特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします	1
	①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ，情報発信と支援を充実させます	5
	①-C 大学等関係機関と連携し，若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します	14
	①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と，健康相談の機会を増やします	15
	①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくれます	19
	①-F 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます	22
	①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします	23
② 地域の食文化を伝えあおう	②-A 地域のつながりをベースに，お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます	25
③ 地産地消をすすめよう	③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します	26
	③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流，体験の場をつくれます	26
④ 食品を選ぶ確かな目を持つよう	④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます	33

推進の柱① 食を通じた健康づくりを実践しよう

取り組みの方向性 ①-A 市民、特に若い世代が自主的に活動する機会を増やします

具体的な取り組み ①-A-1 食育の情報を市民へ広く発信します

- ・各団体や市のホームページに情報掲載
- ・「食育月間」「食育の日」「食生活普及運動」での情報発信
- ・スーパーマーケットでの啓発活動
- ・市民講座、消費者向け講座の実施

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	市民向け冊子の配布	一般市民	・食の大切さやより良い食事に関する啓発	通年	通年	仙台歯科医師会
2	歯と口の健康週間 市民のつどい	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施。 ・食に関する講演の実施 ・「早ね・早起き・朝ごはん!!口と健康を守る食生活コーナー」にて、食の大切さについて啓発（宮城県栄養士会）	6月6日（土）	6月6日（土） 参加者数 638名 栄養展示コーナ 379名	仙台歯科医師会 宮城県栄養士会
2	栄養ヘルスダイヤル	一般市民	・健康や栄養、食生活、生活習慣病に関して、電話またはメールによる栄養相談窓口を開設する。	通年	3件	宮城県栄養士会
4	食育の日（毎月19日）アピール	一般市民	・宮城地区まつりに参加して、地産地消の野菜でカルシウムたっぷり（小エビ、スキムミルク）のおこのみ焼きを販売	11月1日	15名	仙台市食生活改善推進員連絡協議会（宮城）
5	消費者市民講座 料理教室	一般市民	食材の再利用によるエコのすすめ 「こころとからだに好い食のおはなし」と「調理実習」 メニュー：鶏の滋養スープ、蒸し野菜の温サラダ他2品 講師：食生活アドバイザー 梅津周子さん	12月3日（木） 1回実施	参加者12人 こころとからだを癒す料理。そのため消化のメカニズム、女性ホルモン、力をアップする食生活を続けるために、心と身体に好いことをできる範囲で続ける。「笑う」は卵1個分の栄養という。	仙台・みやぎ消費者支援ネット
6	はやね・はやおき・あさごはん運動の推奨	一般市民	・店舗で「しっかり朝食フェア」を実施し朝食をとる大切さをお知らせする。	4/4「からだが好き朝ごはん」和朝食、洋朝食を提案 8/20「新学期準備セール 朝食はしっかりと」ご飯食派、パン食派＋「忙しい朝でもバランスよく」としてカンタンに野菜を採れる提案を実施 1/4「かんたん！ヘルシー朝ごはん」和洋食、洋朝食を提案しました	店舗で、朝食をとる大切さをお知らせしました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

7	あいぶらんど通信縮刷版発行【追加】	組合員	2012年～2014年にかけてまんま通信（商品カタログ）に掲載されたあいぶらんど通信まんま版（生産者産地の訪問取材記事、生産者の組合員自宅訪問交流記事）の縮刷版編集発行	6月発行	販売数	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
8	スーパーマーケットの啓発活動	一般市民	・ホームページを活用した食情報の提供		通年	日本チェーンストア協会東北支部
9	食品に関する講座等の開催	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に、食に関する様々な情報を発信する。 ○消費生活講座の開催	10月28日	テーマ：「味噌の知識をまるごと吸収！ ～「こうじ」に触ってみませんか？～」 参加者数：84人	市民局
10	学校給食フェア	一般市民	・市役所食堂での給食メニュー提供及び資料展示	平成28年1月25日～29日まで実施。資料展示は1階ギャラリーホール。	食堂での給食メニューについては、各日60食を提供。資料展示では、保護者、学校関係者を含む多くの方々が来場。	健康教育課 教育局
11	仙台市ホームページ「社の都のわくわく食育ねっと」	一般市民	・食育事業の紹介、食育推進隊などの活動紹介、関係機関等へのリンクなど、情報を発信	通年	随時更新	健康福祉局
12	各区ホームページの食育のページでの情報提供	一般市民	・食育に関する事業のお知らせや実施状況 ・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用、おすすめレシピ紹介、関係機関等へのリンクなど	随時更新	随時更新	各区保健福祉センター 総合支所
13	健康づくり情報コーナーの設置	一般市民	・食事バランスガイド、健康づくりサポート店（食で健康サポート店）、生活習慣病予防の食生活等のパネル展示、レシピや資料配布	通年	各区・支所ごとに設置	各区保健福祉センター 総合支所
14	食育月間事業 食生活改善普及運動 食育の日普及啓発	一般市民	・市政だより、区ホームページ、庁内放送、パネル展、レシピの配布等による普及啓発 ・食育月間に、児童館・児童センター、大学・専門学校等にポスターや資料等の掲示。（泉区）	食育月間 6月 食生活改善普及運動 9月 食育の日 毎月19日	パネル展、イベント等の実施。レシピや啓発媒体の配布等。	各区保健福祉センター 総合支所

具体的な取り組み ①-A-2 子育て世代のための食生活情報を発信します

- ・ホームページに情報掲載
- ・子育てについてのイベントなどで情報発信

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市ホームページ「くらしのガイド『子育て』」での情報発信	一般市民	・妊娠中の食生活や、離乳食、幼児食などの情報を提供	随時	随時更新	子供未来局
2	子育てイベントでの啓発	子育て中の保護者	・子育て世代が集まるイベント等で、「塩eco」をテーマに子育て世代の健康的な食事について情報発信。	11月8日 PTAフェスティバル	塩エコクイズ 125名参加	健康福祉局

3	子育てについてのイベント	子育て中の保護者とその子ども	①「いずみんおやこフェスティバル」における食育の情報発信（会場:イズミティ21） 手作りおやつを試食 葉や土がついた野菜や芋を展示 災害時に役立つ情報（広告紙で紙皿を折ってみよう） 1食分のバランスメニュー展示（フードモデル）	①10月28日	①614名参加	泉区保健福祉センター
			②「泉区児童館フェスタ」における食育の情報発信（会場:イズミティ21） 乳幼児コーナーにて、「パパママのおやつカロリーチェック」を実施	②11月22日	②45名参加（当ブースのみ）	

具体的な取り組み ①-A-3 キャンペーンやコンテストなどにより、市民の食育活動への参加を促します
 ・レシピ、メッセージ、写真などの募集
 ・スーパーマーケット、飲食店等からコンテスト入賞作品等の情報を広く発信

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	あいごはんアイデア集作成	組合員	組合員から寄せられたあいづらんど商品を使ったアイデアを募集し、そのアイデア集を作成し、組合員に配布する。	通年	希望者に配布	宮城県生活協同組合連合会（あいこーぷみやぎ）
2	キッズ料理コンテスト【追加】	組合員の子ども（小学生）	地場商品を使い子ども達が自分で作る料理コンテスト	10月	エントリー数；	宮城県生活協同組合連合会（あいこーぷみやぎ）

具体的な取り組み ①-A-4 食育活動に取り組む市民のネットワークをつくり、活動についての情報を広く発信します
 ・「仙台食育推進隊」の登録推進、活動状況の発信
 ・自主活動に取り組む市民の育成と活動支援

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「仙台食育推進隊」の登録推進と情報発信	一般市民	・「仙台食育推進隊」の募集、登録。また、活動状況や情報をホームページなどで市民に提供	通年	随時	健康福祉局
2	「仙台食育推進隊」交流会	登録団体・個人	・交流会を開催し、情報交換やネットワークを広げ、活動の一助とする	未定	実施なし	健康福祉局
3	食生活改善推進員の活動支援	食生活改善推進員	・食の講座や個人への普及啓発等のボランティア活動のための情報提供、助言 ・推進員育成の支援	通年（秋保） ・育成支援4回 ・相談報告10回	情報提供等（秋保） 28人	健康福祉局 泉区保健福祉センター 宮城総合支所 秋保総合支所
4	食育サポーター養成講座	食育に関心のある市民	・地域で活動する食育サポーターを養成する ・今年度は、昨年度に引き続き、既存のグループ（もぐもぐ、La ta ta♪（ラッタッタ）、郷土料理つたえ隊）の追加メンバーを養成する。		参加 実6人、延15人 食育サポーター希望 もぐもぐ2人、ラッタッタ2人	宮城野区保健福祉センター

5	食育サポーターの活動支援	食育サポーター	①食育サポーターの研修 ②食育サポーターの活動の場の提供, 紹介等	①スキルアップ講座 9月 ②柝江児童館 11月	①参加 13人 ②参加 食育サポーター 6人 親子 15組	宮城野区保健福祉センター
6	「いずみ食育の輪」の支援	登録団体・個人	①「いずみ食育の輪」(食育活動を行うボランティア団体等)の活動をホームページや食育月間パネル展等で紹介する ②「いずみ食育の輪」の団体の主体的な活動への支援 ③「子育て応援倶楽部いずみん」での活動支援	①ホームページ随時更新 ②活動随時 ③10月28日	③いずみんおやこフェスでの試食提供を支援	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-A-5 若い世代が食育に関心を持つきっかけをつくり, 自主的な食育活動につなげます

・大学生, 専門学校生等自らによる食育推進活動支援や, 協働企画による, イベント, コンテスト等の実施

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育推進委員会の設置・実施による東北地区の食育推進活動	大学生	・東北地区の大学生協で組織活動に取り組んでいる学生さんが集まり, 大学生協の食育推進をどうするかを検討。 ・毎回, 手作りのおかずを持ち寄り, 「弁当の日」を実践。 ・会員の食育活動発表と交流 ・みんなの食生活を見直す。 ・店舗の食育活動を知る。 ・産地体験会報告	・第1回食育推進委員会H27年3月3日(火) ・第2回食育推進委員会6月14日(日) ・第3回食育推進委員会11月1日(日) ・2016年3月5日(土) 第一回食育推進会議	・第1回参加者18名(会員13名・BL5名) ・第2回14名(会員11名・BL3名) ・第3回は弁当の日は11月1日に実施18名(会員13名・BL5名) ・2016年度3月第一回(会員7名BL5名)	宮城県生活協同組合連合会(大学生協)
2	大学との連携による若い世代への食育推進事業	大学生	・宮城学院女子大学との連携により, 仙台市がすすめる「塩エコ」をテーマに取り入れた学生が考える若い世代向け健康・食育推進プログラム開発および市内大学への情報発信。	「塩エコ」をテーマにした調理実習を実施 10,11,12月	参加人数: のべ104名 実施内容について, 食育プロジェクトにおいて他大学と情報共有	健康福祉局
		大学生	(大学生の食育プロジェクト) ・市内の管理栄養士養成課程に在籍する学生による, 食育推進プロジェクト。今年度は, 「塩エコ」をテーマに, 若い世代へ向けた「塩エコ」の啓発方法の検討と, 成人式における啓発を実施。	・企画会議 12月~3月 5回 ・成人式啓発 1月10日	プロジェクトメンバー10名 ・企画会議参加 延45名 ・成人式 塩エコミニ知識リーフレット入りティッシュ配布360個	
3	食に関する実態調査【新規】	専門学校の学生	専門学生の食環境へのアプローチを行うために, 食習慣の実態を把握する。	年1回	実施学生数 1583人	青葉区保健福祉センター
4	若い世代の健康づくり支援事業	専門学校の学生	・ニュースレターとホームページによる健康づくりの普及啓発 ・協働による事業実施(12校と企画)	普及啓発3回 4校延べ5回	31か所へ送付 集団指導290名	青葉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-B 親子を取り巻く様々な場面をとらえ、情報発信と支援を充実させます

具体的な取り組み ①-B-1 子供や家族の食習慣について、現状を把握します
・家庭における食生活の実態把握

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	幼児の食生活状況の把握	1歳6か月児健康診査・2歳6か月児歯科健康診査・3歳児健康診査受診者	・幼児健診の問診票や健診結果のデータ等を集積し、食生活状況を把握する	通年	身長・体重・肥満度・問診項目、個別相談の結果などを各区・支所で集計	各区保健福祉センター 総合支所
2	幼児健診、離乳食教室、訪問栄養相談での把握	乳幼児の保護者	・問診票、アンケート、聞き取り等による食生活状況の把握	離乳食教室でのアンケート実施 年6回（奇数月）	離乳食教室アンケート実施 6回 回答者数89名	宮城総合支所

具体的な取り組み ①-B-2 保育所・幼稚園児の保護者、地域の子育て家庭の保護者に、健康的な食習慣について情報発信をします
・離乳食、幼児食講座、試食会、料理教室
・献立表、給食だより、保育参観などでの働きかけ

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育演劇チームによる公演	幼児・児童保護者	・幼稚園などで食育劇を公演	H27年10月28日	泉区七北田保育園 在園児80名・地域の親子3組	仙台市地域活動栄養士会
2	小さな子どものお食事&クッキング	子育て中の親	・託児つき料理教室、栄養講話 ・「お手軽イタリアン」全4品	H27年8月1日	子供10名大人15名	仙台市地域活動栄養士会
3	ガス局料理教室への講師派遣	親子	・親子の料理教室と栄養講話	年間8回開催	親子 96組 延192名	仙台市地域活動栄養士会
4	給食試食会と食事のバランスについての講座	園児・未就園児の保護者	・仙台市私立幼稚園連合会の各地区研修部、推進委員を通して働きかけ、各園の状況に合わせて実施 ・食に関心を持つ（食材の工夫、栄養のバランス）	6月	約100名(保護者) 給食参観後、試食会を実施	幼稚園 私立幼稚園連合会
5	献立表、給食だより、保育参観などでの働きかけ	保育所入所児家庭	・連合会給食会研究委員会で作成するリーフレット等を配布し、健康的な食習慣についての情報を発信する。	3月 1回	食育教材のぬりえを配布 公立 4,440名 私立 11,868名	保育所連合会 子供未来局
6	離乳食・幼児食講座、試食会	地域の子育て家庭保護者	各保育所及び子育て支援センターでの離乳食講座、幼児食講座の実施を通して、子育て家庭の保護者へ健康的な食習慣について情報発信をする。	4月～3月 公立 229回 私立 301回	公立 720名 私立 2,417名	保育所 私立保育所(園) 子供未来局

7	献立表、給食だより、保育参観などでの働きかけ	保育所入所児家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所の給食試食会を通して、給食や乳幼児期の食事・食習慣への理解を深める。 ・連合会給食会研究委員会で作成するリーフレット等を配布し、健康的な食習慣についての情報を発信する。 	4月～3月 公立 765回 私立 971回 配布 3月	公立 10,925名 私立 18,339名 配布数 公立 4,440枚 私立 10,868枚	保育所 保育所連合会 子供未来局
8	親子調理活動	保育所入所児 童と保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参観や懇談会等で調理活動の内容及び実施施設の充実を図る。 ・親子で食事作りを楽しみ、家庭での食への興味や関心を深める。 	4月～3月 公立 63回 私立 59回	参加者 公立 1,319名 私立 1,692名	保育所 私立保育所(園) 子供未来局
9	地域健康教育 (出前健康教育、出前講座、宅配講座)	地域の子育て 中の保護者	・乳幼児期の食生活についての講話、個別相談等	随時	(集団) 実施回数：47回 参加人数：791人 (個別相談) 人数：33人	各区保健福祉セ ンター 総合支所
10	幼児食相談会	概ね1歳～1歳 4か月児と保 護者	・食育や幼児食についての個別相談会	5回	37組	青葉区保健福祉 センター
11	ママカフェ (地域子育て支援事 業)	幼児とその母 親	月1回実施の幼児を持つ母親の企画する事業と連携し、親子クッキングの実施や食育情報の提供を行う。	9月3日、2月19 日	実施なし	宮城総合支所
12	食育推進連携事業 「Morning Vegetable ～朝食に野菜を ～」	若い世代 子育て世代	<ul style="list-style-type: none"> ・管内関係機関と連携し、朝食摂取率向上のための啓発活動を行う ・保育所、幼稚園、学校、大学等に標語の浸透 ・レシピ集を活用した啓発活動(健康教育での試食・デモ等) ・朝食摂取と朝食の内容充実をテーマとした情報紙を配布し、啓発する(幼稚園年4回、大学年2回) ・幼稚園保護者を対象とした体験型食育講座の実施【新規】 ・モーベジガイド配布(2.6健診時、離乳食教室、栄養訪問等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報紙季刊配 布・リーフレッ ト配布年2回・幼 稚園食育講座2 回・小学校出前 講座2回・児童館 食育講座1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・太白区内全幼稚園保護者 16,491枚・大学生向けリー フレット860枚・しげる幼稚 園家庭学級43名・光塩幼稚 園14名・芦口小学校延べ89 名・上野山児童館親子16組 33名・モーベジガイド 2,081部 	太白区保健福祉 センター

具体的な取り組み ①-B-3 学校において食生活調査を実施し、調査結果を活用して健康教育を実施します
・健康実態調査の実施とその結果を活用した健康教育

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的な施策の取組	小・中学生	・今後5年間にわたって取り組む「仙台市健やかな体の育成プラン」の具体的な施策に学校・家庭・地域・関係機関の連携を基盤とし、取り組んでいく。	平成24年度～ 28年度 健康教育推進校 として、平成2 7年度新たに2 校を指定。 健康教育研修会 8月4日、5日	「仙台っ子健康セミナー」 講演3部門計 329名参加	小・中学校 教育局
2	健康実態調査	小・中・高校 生	・発育状況・疾病及び体力・運動能力、食習慣についてその実態を把握し、分析検討を加え、もって児童生徒の健康と体力の増進を図る。	5月～7月	小・中・高校生を対象に調査 を実施。報告書にまとめ、各 校へ配布予定。	市立学校 教育局

具体的な取り組み ①-B-4 学校での様々な活動において『食に関する指導』を充実させます

・「食に関する指導の全体計画」「学年毎の年間指導計画」に基づく、学校の教育活動全般で食育推進

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	「食に関する指導の全体計画」「各学年における食に関する指導の年間指導計画」の作成及び見直し	小・中学生	・平成25年度に改訂された「食に関する指導の手引き」をもとに、「食に関する指導の全体計画」「各学年における食に関する指導の年間指導計画」の見直しを行い、各教科や特別活動及び学校の教育活動全般において食育を推進する。	通年 各学校において適宜指導を振り返り全体計画や年間指導計画の見直しを図る。	各学校において適宜計画を見直し、食に関する指導を実践している。	小・中学校 教育局
2	給食の時間における食に関する指導の充実	小・中学生	・給食時間をはじめ、食に関連する教科・諸行事等において、各学級担任を中心に、栄養教諭・学校栄養職員の参画にて食に関する指導を行う。 ・「食育の日」、「食育月間」の普及・啓発を行う。	通年 指導計画を基に実施	担任と栄養教諭・学校栄養職員が連携し、食育を推進している。	小・中学校 教育局
3	「給食週間」	小・中学生	・児童、生徒を中心に内容を工夫して、給食に感謝する催しを開催する。	1月 児童・生徒の主体性を大切に、各学校の特色を生かして行う。	1月下旬に各校で実施。1月25日～29日に仙台市役所食堂にて学校給食フェア開催	小・中学校 教育局

具体的な取り組み ①-B-5 児童・生徒の保護者に向けて、健康的な生活習慣のための情報を発信します

・給食試食会、親子料理教室の実施
・保護者懇談会、PTA活動などの場で情報発信
・献立表、給食だよりでの周知

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	献立表や給食だよりによる啓発	小・中学生と保護者	・献立表や給食だよりなどを通じた食育活動の周知をする。 ・食物アレルギーへの対応について周知する。	月ごとに実施	食育やアレルギーへの対応等について、啓発に努めている。	小・中学校 教育局
2	「望ましい生活習慣形成」の呼びかけ	小・中学生と保護者	・保護者懇談会や給食試食会、PTA行事などを利用して、望ましい食習慣の形成、食を通じたコミュニケーションの促進を図る。	通年 健康教育の一環として実施	保護者と養護教諭の協力を得て、セルフチェックカードの取組を実施している学校が増えている。	小・中学校 仙台市PTA協議会 教育局
3	PTA活動などを利用した啓発	小・中学生と保護者	・親子料理教室等の開催 ・給食試食会 ・栄養士さんの講話 ・ミニ菜園づくり など			仙台市PTA協議会
4	保護者への啓発	保育所入所児童の保護者	・給食だよりで食育活動報告を載せ、保護者に周知する。 ・懇談会や給食試食会等を実施する。	活動報告 公立 2,180回 私立 1,959回 懇談会 公立 702回 私立 912回	懇談会参加者 公立 9,666名 私立 16,639名	保育所 私立保育所(園) 子供未来局

5	市民対象の食物アレルギー講演会の実施	乳幼児・学童期の保護者, 市民	・食物アレルギーに対する正しい知識と給食に対する理解を深めるための研修会を実施する。(子供未来局・教育局共催)	9月29日	158名参加	子供未来局 教育局
6	市民対象の食育に関する講演会の実施	学童期の保護者, 市民	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し, 保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。(学校職員対象の研修会を市民にも開放)	健康教育研修会 8月5日 (一部再掲)	「仙台っ子健康セミナー」 講演1部門(生活習慣, 食事, 運動方法のポイント) 117名参加	教育局
7	子育てイベントでの啓発《①-A-2再掲》	子育て中の保護者	・子育て世代が集まるイベント等で, 「塩eco」をテーマに子育て世代の健康的な食事について情報発信。	11月8日 PTAフェスティバル	塩エコクイズ 125名参加	健康福祉局

具体的な取り組み ①-B-6 専門性を活かし, 幼児・児童・生徒への食生活指導を行います

- ・学校健診の場で指導
- ・嘱託歯科医による講話など

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	仙台市立学校健診 糖尿病精密検査 生活習慣病検査 貧血検査	小・中学生	・学童を対象とした各健診後, 児童・生徒及び保護者に対して, 校医, 専門医による食の改善, 運動等事後指導を継続的に実施した。また, 円滑に指導等ができるよう関係者と連携を図った。	平成27年6月~10月	糖尿病精密検査実績28名 生活習慣病検査実績180名 貧血検査実績133名	仙台市医師会
2	学校・幼稚園・保育所での講話	児童・職員	・歯科校医, 園医, 嘱託医による講話などでの食事指導	通年	通年	仙台歯科医師会
3	支援学校での摂食指導	児童・保護者 職員	・鶴谷特別支援学校, 県立視覚支援学校への摂食指導研修会への講師派遣	3回	5月21日 6月4日	仙台歯科医師会
4	仙台市PTAフェスティバルへの参加	児童・保護者	・健康的な食生活についての啓発	1回	1回	仙台歯科医師会
5	3歳児カリエスフリー85プロジェクト【新規】	乳幼児	・乳幼児期からの正しい食習慣の確立への啓発	通年	通年	仙台歯科医師会
6	子育て講座への講師派遣	就学児の保護者	・就学時健診時に保護者に対しての栄養講話	11月18日 11月25日 11月26日	鶴ヶ谷東小 70人 将監中央小 90人 荒町小 70人	仙台市地域活動 栄養士会

具体的な取り組み ①-B-7 食育推進担当者の資質向上をすすめます

- ・教諭, 栄養士, 保育士等食育担当者の研修会や実践研究
- ・食物アレルギーについての助言

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食物アレルギーへの対応事業	保育士, 栄養士, 教諭等	・食物アレルギー対応の手引き(改訂版)を活用し, 指導・助言を行っている。	通年		仙台市医師会

2	「食育」の実践研究	教諭・栄養教諭・学校栄養職員	・仙台市小学校教育研究会学校給食部会の取り組みとして、研究主題「食を大切にす る心をはぐくみ、健全な心身を培う食育の推進」を掲げ、実践研究を行う。	通年 地区ごとにテーマを設け実践研究を行う。	2月に研究発表会を行う。 (約100名参加)	小学校 (仙台市小学校教育研究会学校給食部会)
3	学校給食の充実・発展のための研修	栄養教諭・学校栄養職員	・仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会の中の、栄養教諭・学校栄養職員部会において、講演会や調理実習、施設見学などの研修を行い、資質向上をはかる。	通年 研修の年間計画を立てて実施。	12月にシェフを招いて宮城の食材を使った西洋料理の調理講習と味覚の授業を実施 (約50名参加)	小・中学校 (仙台市小・中学校教育研究会学校給食部会)
4	食えることが楽しくなる食育	教諭・職員	・各地区毎の研修会において、食育推進計画の主旨、内容を伝え、今まで各園で実施してきた活動の見直しや、他の園はどんなことをやっているのか、情報交換の場を設ける	通年	泉区研修担当者(約20名) 今年度の食育に関する研修について報告	幼稚園 私立幼稚園連合会
5	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	・栄養士研究委員会にて、テーマを設けて研究・発表する ・保育所連合会栄養士研修で食育への理解を深め、施設での実践につなげる。	7月15日	「幼児の家庭における食生活実態調査」を実施し、保育研究大会で発表 公立・私立保育所(園)栄養士 136名参加	保育所連合会 子供未来局
6	保育所連合会給食担当者研修会	栄養士・調理員	・調理実習や講義の研修を通して、食育や衛生管理への理解を深める。	8月25・26日 9月8・9日	調理講習 4回 63名 講話 1回 59名	保育所連合会 子供未来局
7	保育所連合会栄養士研修等	栄養士	・栄養士研究委員会にて、テーマを設けて研究・発表する ・保育所連合会栄養士研修で食育への理解を深め、施設での実践につなげる。	7月15日 1回	136名	保育所 保育所連合会 子供未来局
8	保育所連合会給食担当者研修会	栄養士・調理員	・調理実習や講義の研修を通して、食育や衛生管理への理解を深める。	8月25・26日 9月8・9日	調理実習 4回 63名 講話 1回 59名	保育所 保育所連合会 子供未来局
9	業務研修	保育士	・職場内で食育や個別対応の研修を実施し、職員間での共通理解を深め実践につなげる。	4月～3月 48回	473名	保育所 私立保育所(園) 子供未来局
10	食物アレルギー研修会	学校職員	・食物アレルギーに対する正しい知識を深めることと緊急時の対応についての研修会を実施する。 ・「エピペン®」を処方された児童生徒がいる学校において研修会を実施する	5月7日 通年	155名参加	小・中学校 教育局
		保育所職員	・「エピペン®」を処方された乳幼児がいる保育所において研修会を実施する	4月～3月 7回	6カ所 126名 運営支援課保健師による訪問研修	保育所 子供未来局

11	食育講演会	学校職員	家庭・学校での「食育」の実践に関する講演会を実施し、保護者・学校・地域における食育に関する意識を高める。(学校職員対象の研修会を市民にも開放)	健康教育研修会 8月5日 (再掲)	「仙台っ子健康セミナー」 講演1部門(生活習慣、食 事、運動方法のポイント) 117名参加	小・中学校 教育局
12	食育情報交換会	児童館・保育 所・せんだい保 育室・幼稚園・ 小中学校の職 員、食生活改善 推進員等	・事例発表、情報交換等	12月8日	39名 栄養士、保育士、調理師・調 理員、食生活推進員等様々な 職種が参加	青葉区保健福祉 センター 宮城総合支所
13	学校保健に関する懇 談会	小中学校・高 校の教職員	学校と保健福祉センターが、児童・生徒の健康問題や健康教育の取り組みについて情 報交換し、どのような連携が必要なのか等を話し合う。	年2回実施	1回目：7月実施(12校15 人) 2回目：2月実施(19校21 人)	若林区保健福祉 センター
14	食育担当者情報交換 会	保育所、幼稚 園、学校の職 員	・講演、事例発表、情報交換 食と歯の研修会 H28.2.1実施	2月1日	25名 園長・保育士・栄養士・養護 教諭等様々な職種が参加	太白区保健福祉 センター

具体的な取り組み ①-B-8 妊産婦や乳幼児の食事について、専門性を活かし、きめ細かい指導・支援をします

- ・母子健康手帳交付時、母親教室、両親教室での相談・指導
- ・育児教室、幼児健診での啓発、相談・指導
- ・離乳食教室、訪問栄養指導

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	妊婦健診事業	妊婦健診受診 者	・妊婦健診の中で貧血や妊婦高血圧症候群、妊娠糖尿病などの異常を早期発見し、妊 娠期間中の食事指導などを行う。また、支援が必要な妊婦については行政と連携し積 極的に指導している。	通 年	妊婦健診実績 延べ 101,984名	仙台市医師会
2	乳幼児健診事業	乳幼児健診受 診者	・乳児健診(2か月、4~5か月、8~9か月)、1歳6か月児、3歳児健診において、 乳幼児の健康的な成長を促すための栄養指導を実施している。	通 年	乳児健診実績 26,409名 1・6、3歳児健診実績 8,489名	仙台市医師会
3	母子手帳交付説明 会、母親教室等での 啓発	妊産婦 その家族	・妊娠中の食生活の確認と、家族を含めた健康的な食習慣についての啓発・相談・指 導	各区・支所で毎 月1~2回実施	・母子健康手帳交付説明会 ：115回開催 ・母親教室等 ：42回(35コース)開催	子供未来局 各区保健福祉セ ンター 総合支所
4	3~4か月児育児教 室での啓発	乳児の保護者	・乳児の食生活についての資料配布、パネル展示等	年間239回開催	開催回数：235回 対象者数：9,211名 参加者数：7,602名	子供未来局 各区保健福祉セ ンター 総合支所
5	離乳食教室	乳児の保護者	・離乳食の進め方や具体的な調理の方法を学ぶ ・参加者間の情報交換により、親同士のつながりをもつ機会とする ・食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取と内容の充実について啓発 (太白)	年間66回開催	開催回数：66回 参加延べ数：1,752組	子供未来局 各区保健福祉セ ンター 総合支所

6	1歳6か月児健診、 2歳6か月児歯科健診、 3歳児健診における啓発	幼児の保護者	・幼児期の健康的な食生活についての啓発と、個別相談 ・食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取について啓発（2歳6か月児 歯科健診集団指導時：太白）	1歳6か月児健診 211回 2歳6か月児歯科健診 212回 3歳児健診 218 回	・1歳6か月児：211回 資料配布数：8,932枚 個別相談：1,248件 ・2歳6か月児：212回 資料配布数：8,843枚 ・3歳児：218回 資料配布数：8,489枚 個別相談：426件	子供未来局 各区保健福祉セ ンター 総合支所
7	訪問相談	地域の子育て 家庭保護者	・地域子育て家庭へ訪問し、乳幼児の食のすすめ方について個別に相談指導を行う	4月～3月	222件	保育所 子供未来局
8	妊産婦食生活相談	妊産婦 その家族	・来所による妊娠中の食生活についての個別相談	12回	相談 196件	宮城野区保健福 祉センター
9	マミーズクラブ同窓 会での啓発	母親教室卒業 生（乳児の保 護者）	・授乳中の母親の食事について講話と資料配布 ・離乳食の始め方についての講話・個別相談	7回	82名	青葉区保健福祉 センター
10	離乳食教室	乳児の保護者	・離乳食の進め方や具体的な調理の方法を学ぶ ・参加者間の情報交換により、親同士つながりをもつ機会とする ・食育推進連携事業の一環として、子育て世代の朝食摂取と内容の充実について啓発 （太白）	通年	1,708組参加	子供未来局 各区保健福祉セ ンター 総合支所
11	歯ッピー教室（1歳児 歯科保健教室）にお ける啓発	幼児の保護者	・乳児期から幼児期にかけての望ましい食生活についての啓発と個別相談	年6回（奇数月開 催）	回数：6回 参加者数：69組 個別相談：15件	宮城総合支所
12	1歳の歯みがき教室	幼児の保護者	・乳児期から幼児期にかけての望ましい食習慣確立についての講話と相談	12回	参加延べ数 274名 個別相談 57名	泉区保健福祉セ ンター
13	育児相談	乳幼児の保護 者	・親が現在の子供の食事内容や与え方等について相談し、子供にあった対応について の確認をし、自信を持って食事づくりができるよう支援	①高砂保健セン ター 5回 ②岩切保健セン ター 4回	①相談 64件 ②相談 55件	宮城野区保健福 祉センター
				所内、六郷保健 センター、七郷 保健センターに て各12回	六郷 64人 七郷 90人 所内 133人	若林区保健福祉 センター
				茂庭台市民C 3 回	栄養相談10件	太白区保健福祉 センター
				所内で偶数月開 催 6回	栄養相談 137名	泉区保健福祉セ ンター

14	育児相談 (幼児健診事後)	乳幼児の保護者	・1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診・3歳児健診の事後指導の教室で、幼児期の健康的な食生活についての講話と相談	9月、12月	9月 5名 12月 8名	泉区保健福祉センター
15	訪問栄養指導事業	おもに妊産婦、乳幼児の保護者など	・家庭訪問により、生活実態に合った具体的な支援をする	通年	妊産婦： 0名 乳児： 764名 幼児： 35名	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所
16	食生活・栄養相談	乳幼児の保護者及び妊産婦	・電話、来所による栄養相談	通年	妊産婦： 68名 乳幼児： 393名	各区保健福祉センター 総合支所

具体的な取り組み ①-B-9 子供の健康的な生活リズムと食習慣づくりについて考える機会をつくります
 ・地域の育児サロン、保育所、幼稚園、児童館、社会学級等と連携した食事相談、講座

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	東松島市ほっとふる秋まつり	児童とその親	・東松島市にて実施	10月19日	参加者親子105組	宮城県栄養士会
2	親子食育講座への講師派遣	小学生とその保護者	・調理実習と食育講話	6月25日	宮城野区田子小親子140名	仙台市地域活動栄養士会
3	市民センター、児童館への出前講座	地域の子育て家庭保護者	・児童館、市民センターで離乳食講座、幼児食講座を実施し(出前講座)、生活リズムや健康的な食習慣についての情報を伝える	4月～3月 5回	49名	保育所 子供未来局
4	親子食育講座	小学生とその保護者	・子供の基本的な生活習慣の確立と生活リズム改善を目的として、栄養士等を講師とした「食育」に関する講話・調理実習を内容とする講座を行う(各小学校の社会学級やPTA等に委託)	平成27年6月～ 平成28年1月 46校で延85回 実施	参加者数 3,165名	教育局
5	児童館などと連携した健康教育、食育講座	乳幼児の保護者	・生活リズムや食習慣についての講話や個別相談、情報提供、資料配布、情報交換の場の提供	愛子幼稚園との連携事業(食育と歯科の講話)6月4日 落合市民センター連携事業 6月11日(1歳児対象)10月26日(2～3歳児対象)の食育講話・調理	愛子幼稚園：1回 150名 落合市民センターわくわく広場 2回 13名 内訳)1歳児向け：8名 2～3歳児向け：6名	宮城総合支所
6	若い年齢層への健康教育	子育て世代	・離乳食、食育、生活習慣病などをテーマとした健康教育	随時	・富沢小学校 91名 ・八木山カトリック幼稚園 親子27組54名	太白区保健福祉センター

7	大学生を対象とした食育【新規】	大学生	・東北工業大学工学部新入生を対象に食生活とタバコについて講話を実施	5月	実施回数 1回 参加者 85名	太白区保健福祉センター
8	食育講座	育児グループ 幼稚園児の保護者	・食習慣や生活のリズムについての講話と、調理体験	10月運動と食事づくり講座	10人	秋保総合支所
9	保育所などと連携した健康教育	乳児の保護者	・保育所地域子育て支援センターとの連携による離乳食講座（調理実習）	11月12日	12名	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-B-10 食育関係機関、関係者の資質向上とネットワークづくりをすすめます
 ・民生委員、保育所、幼稚園、児童館職員等を対象とした研修、情報交換会

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食育情報交換会 《①-B-7 再掲》	児童館・保育所・せんだい保育室・幼稚園・小中学校の職員、食生活改善推進員等	・事例発表、情報交換等	12月8日	39名 栄養士、保育士、調理師・調理員、食生活推進員等様々な職種が参加	青葉区保健福祉センター 宮城総合支所
2	子育てネットワーク会議	保育所、幼稚園、児童館、市民センター、育児サークル、託児ボランティアグループ、社協等	・子育てネットワーク会議の中で食育の活動についての情報提供および情報交換を行う 1回目のワールドカフェでの試食提供により、地域子育て支援事業での食育活動についての情報提供。	5月15日開催	今年度栄養食育についての関わりなし	宮城総合支所
3	食育担当者情報交換会《①-B-7 再掲》	保育所、幼稚園、学校の職員	・講演、事例発表、情報交換 食と歯の研修会 H28.2.1実施	2月1日	25名 園長・保育士・栄養士・養護教諭等様々な職種が参加	太白区保健福祉センター
4	学校・保育所・地域栄養連絡会	小・中学校栄養教諭・栄養士、支所栄養指導員	・各ライフステージごとの食生活の課題を共有し、地域全体の食育の推進を図る。 ・健康のつどいにて各校・保育所の食育紹介	8月学校保健地域保健連絡会 12月健康のつどい	小中学校・保育所より栄養士5人参加 小中学校・保育所5件分の食育紹介	秋保総合支所
5	地域子育て交流会	いずみ食育の輪、育児サークル、育児サロン、のびすく泉中央、泉区中央市民センター	・「子育て応援倶楽部いずみん」における食育活動支援と情報提供 「いずみんおやこフェスティバル」における食育の情報発信《①-A-2再掲》 手作りおやつを試食 葉や土がついた野菜や芋を展示 災害時に役立つ情報（広告紙で紙皿を折ってみよう） 1食分のバランスメニュー展示（フードモデル）	10月28日	614名参加	泉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-C 大学等関係機関と連携し、若い世代の健康づくりについて積極的に啓発します

具体的な取り組み ①-C-1 教育機関等との連携により、若い世代に向けて健康づくりの大切さを伝え、食習慣改善のきっかけとなるよう情報を発信します

- ・学生食堂での取り組み
- ・若い世代向けの資料の作成と活用
- ・健康情報の提供や、イベントでの啓発等

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ミールカードによる食事を摂る取り組みの推進	大学生	・食堂利用定期券「ミールカード」により、「食費を切り詰めることのない健康的な食生活」を提案する	・ミールカード申込数 9,162名（昨年比+1,030名）	・繰り越し型店舗は昨年より利用が若干少なくなっております。 ・夏季オプションの利用者数 607名の申込み	宮城県生活協同組合連合会（大学生協）
2	管理栄養士による「食育講演」の実施	大学生	・大学生協の食堂で使用している「三群点数法」を活用しながら、大学時代における食生活の重要性を伝える場面を設ける。	・5月27日（水）宮教大：食育講話対象 約50名 ・6月14日（日）食育推進委員会で講和、対象 約20名 ・12月10日（木）弘前大：食育講和 約300名	・講師として連合職員が各単協支援、管理栄養士派遣	宮城県生活協同組合連合会（大学生協）
3	大学との連携による若い世代への食育推進事業	大学の健康管理部門担当者等	・大学関係者と健康づくりおよび食育の取り組みに関する情報交換を実施。若い世代の健康づくりをすすめる。	随時	市内大学訪問による情報交換を実施。大学関係者の協力により大学生の食育プロジェクトを立ち上げる。	健康福祉局
4	若い世代の健康づくり支援事業	専門学校の学生	・職員や学生に向けた健康情報（ニュースレター）の発信 ・健康教育、掲示教育用のCDRを各学校に提供し、活用につなげる。（H26年度作成）	3回	31か所へ送付	青葉区保健福祉センター
5	地域健康教育（出前健康教育、出前講座、宅配講座）	小・中・高校生及び保護者	生活と食事のリズム、朝食の大切さ、バランスのよい食事等をテーマにした健康教育	（集団）1回	参加人数：生徒67人、保護者12人、教員3人	宮城野区保健福祉センター
6	食育講座	小・中・高校生及び保護者	・生活と食事のリズム、朝食の大切さ、バランスのよい食事等についての講話。	随時	1回7人	若林区保健福祉センター
7	地域と共に育む子どもの健康づくり事業【新規】	児童	児童クラブを対象として、食べ物の働きや食事のバランスについて紙芝居やワークシートを使って学ぶ講座を実施	通年	実施回数 9回 参加者 延べ358人	太白区保健福祉センター
8	食育推進連携事業「Morning Vegetable ～朝食に野菜を～」《①-B-2 再掲》	若い世代子育て世代	・管内関係機関と連携し、朝食摂取率向上のための啓発活動を行う ・保育所、幼稚園、学校、大学等に標語の浸透 ・レシピ集を活用した啓発活動（健康教育での試食・デモ等） ・朝食摂取と朝食の内容充実をテーマとした情報紙を配布し、啓発する（幼稚園年4回、大学年2回） ・幼稚園保護者を対象とした体験型食育講座の実施【新規】 ・モーベジガイド配布（2.6健診時、離乳食教室、栄養訪問等）	・情報紙季刊配布・リーフレット配布年2回・幼稚園食育講座2回・小学校出前講座2回・児童館食育講座1回	・太白区内全幼稚園保護者16,491枚・大学生向けリーフレット860枚・しげる幼稚園家庭学級43名・光塩幼稚園14名・芦口小学校延べ89名・上野山児童館親子16組33名・モーベジガイド664部	太白区保健福祉センター
9	大学生を対象とした食育	大学生等	①食育月間に合わせ、朝食についての資料を配布。 《①-A-1再掲》 ②大学生協まつりで食育のブースを設置し、食育体験、栄養相談、情報提供を実施。（大学生生活協同組合との協働） ③大学との連携により、大学祭において食育ブースを設置し、朝食摂取の大切さについて啓発（学生によるメニュー提案、デモンストレーション、試食提供等）	①6月 ②11月11日 ③10月24、25日	①大学・短大4校、専門学校4校 ②大学1校 41名参加 ③大学1校 132名参加	泉区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-D 働き盛り世代への積極的な啓発と、健康相談の機会を増やします

具体的な取り組み ①-D-1 企業・団体・組織等との連携により、働き盛り世代向けに、食習慣改善のための情報を発信します

・事業所等での生活習慣病予防に関する情報提供、健康教育、相談会（商工会・業種別組合・消防団・事業所等と連携）

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	若い世代の健康づくり支援事業	専門学校職員	<ul style="list-style-type: none"> 食生活実態調査の結果報告 食生活実態調査の結果を踏まえた今後の取り組みについて検討 	1月	<ul style="list-style-type: none"> 28校に送付 3校と検討会実施 	青葉区保健福祉センター
2	事業所での健康教育		<ul style="list-style-type: none"> 事業所で働く方を対象とした生活習慣病予防のための健康教育の開催 	未実施	実施なし	宮城総合支所
3	健康情報の提供	タクシー事業者 理美容組合員	<ul style="list-style-type: none"> 顧客向けの健康情報の提供（掲示物等） 糖尿病予防啓発（理美容合同衛生消毒講習会） 	①情報提供：タクシー1回、理美容1回 ②衛生消毒講習会：2回	①タクシー 6事業所 理美容 65店舗 ②参加延102人	宮城野区保健福祉センター
4	職域と連携した生活習慣改善のための事業	働き盛りの男性	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病予防のための健康づくり講座 	年3件実施	3回151人	若林区保健福祉センター
5	生活習慣改善に向けた事業	働き盛り世代	<ul style="list-style-type: none"> H23～25に健康教育を行った事業所へ出前講座の案内を送付し、出前講座の申込を募る 	事業所への健康教育1事業所 3/15, 16, 17	159名 生活習慣病予防	太白区保健福祉センター
6	働き盛り世代への食情報の発信	働き盛り世代	<ul style="list-style-type: none"> 消防団健康教育、スポーツレクリエーション大会時に情報提供 商工会及び小中学校父兄向けに資料での情報提供 旅館、企業を巡回しての健康管理担当者からの情報把握と食情報の提供 	9月 1回	68人 健康と食事に関する資料配布200部	秋保総合支所
7	生活習慣改善啓発事業	働き盛り世代	<ul style="list-style-type: none"> 地域のスーパーマーケットとの連携による、体験型生活習慣病予防イベント 	9月18日	イベント参加者延べ1,345名 うち栄養コーナー延べ167名	泉区保健福祉センター
8	地域健康教育	働き盛り世代	<ul style="list-style-type: none"> 商工会等団体との連携により、健康教育の実施 	4回（3事業所）	延べ 180名	泉区保健福祉センター
9	児童館などと連携した健康教育	乳幼児、小学生の保護者	<ul style="list-style-type: none"> 減塩やメタボリックシンドロームについてのポスターを児童館・児童センターに配布し、館内に掲示。 	5月	児童館・児童センター25館	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-D-2 地域の状況に応じて、生活習慣病予防について学習する機会をつくります

・低栄養予防、生活習慣病予防のための講習会、健康講座（町内会・老人クラブ・社会福祉協議会等と連携）

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食生活改善普及事業 （よい食生活をすすめるための料理講習会）	一般市民	（テーマ） ①骨とカルシウムについて②腸内の細菌について③食育について④3-A-DAY（1日3回または3品）の乳製品をとりましょう。 （献立）	10月16日（金）	20名 手軽で健康的な食習慣を身につけましょう、ということで大変好評でした。	仙台市食生活改善推進員連絡協議会 （秋保）
2	ヘルスマイトが「TUNAGU」（繋ぐ）パートナーシップ事業（第3弾）	一般市民	・地域と世代をつないで「減塩」と「野菜ワンプレート」の普及をテーマに、料理講習会を実施する。 ・お隣さん、お向かいさんを訪問し、塩分測定器「減塩くん」を使い、みそ汁の塩分チェックと野菜ワンプレートの普及に努める。	ヘルスマイトが「TUNAGU」（繋ぐ）パートナーシップ事業（第3弾）（時期未定）	25件	仙台市食生活改善推進員連絡協議会
3	肥満予防講習会	一般市民	・「適正体重を維持しましょう（自分の適性体重をしりましょう、週1回は体重を測定しましょう）」の内容で講習会を実施	秋保幼稚園保護者を対象に平成28年2月3日（水）	15名 栄養バランス良くとり過ぎに注意しましょう。	仙台市食生活改善推進員連絡協議会 （秋保）
4	地域健康教育 （出前健康教育、出前講座、宅配講座）	一般市民	・町内会、老人クラブ、地区社会福祉協議会のサロン等での、低栄養予防、骨粗しょう症予防、生活習慣病予防などをテーマにした健康教育	随時 宮城野：（集団）2回	（集団） 実施回数：23回 参加人数：571回	各区保健福祉センター 総合支所
5	生活習慣改善教室	一般市民	・生活習慣病予防のための教室	11月27日 1回	生活習慣改善のための健康相談会：11月24日実施 104名参加 生活習慣改善教室：11月27日実施 1名参加	宮城総合支所
6	地域健康教育 （出前健康教育）	介護予防自主グループ	・健康長寿のために食事バランスと低栄養予防についての講話	2月18日	参加人数 13名	秋保総合支所
7	生活習慣改善教室	働き盛りの男性 （メタボ対象）	・生活習慣病予防のための健康教育	2月26日	参加人数 2名	秋保総合支所
8	介護予防サポーター スキルアップ研修	介護予防運動サポーター	・介護予防運動サポーターが地域で継続的に活動できるよう、健康的な食生活について啓発する。 ・サポーターを通じた地域の高齢者への啓発をはかる。	11月30日 12月9日	低栄養予防についての講話 参加延べ人数 34名	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-D-3 健康診断受診後の相談・指導を充実させ、食習慣の改善を応援します

- ・特定健康診査，基礎健康診査後の事後指導，特定保健指導
- ・健康づくり相談・講座，訪問指導

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	特定健診・特定保健指導事業	一般市民	・特定健診，基礎健診における問診や結果に応じて，生活習慣病等の「疾患に関する判定」「メタボリックシンドロームに関する判定」及び「特定保健指導に関する判定」を行い，保健指導や生活記録から個々の生活習慣改善の行動目標を設定（身体活動量・食事バランス）し，健康的な生活習慣を身に付けられるよう，登録医療機関で指導している。また，今年度から検査項目に血清尿酸が追加された。動脈硬化・脳卒中・心臓病・腎臓病の危険因子であり，肥満との関連性もあることから，各種疾病の早期発見・早期治療に努めている。	平成27年7月～平成28年3月	特定健診実績（7～11月，1月） 73,638名 *市国保 基礎健診実績（8～11月，1月） 36,089名 動機付け支援実績（7月～） 654名	仙台市医師会
2	特定保健指導	特定保健指導対象者（積極的支援）	・集団または個別による生活習慣病予防のための支援	8月～	94人	健康福祉局
3	基礎健診保健指導	基礎健診保健指導対象者	・集団または個別による生活習慣病予防のための支援	11月～	40件	各区保健福祉センター 総合支所
4	あおば健康づくり講座	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話と個別相談	12回	講話回数:3 参加人数:19 個別相談35件	青葉区保健福祉センター
5	健康づくり相談 基礎健康診査事後指導	健診受診者	・受診後の相談ができる場の提供 ・食習慣改善のための講座実施	未実施	事後指導は随時実施 実施回数：1件 人数：1名	宮城総合支所
6	健康づくり相談	一般市民	・健康づくりのための食生活相談	20回	相談 31件（基礎健診事後相談4件含む）	宮城野区保健福祉センター
7	健康生活講座	一般市民	・健康づくりのための食生活講話，演習	1回	参加 10人 個別相談 3人	宮城野区保健福祉センター
8	健康づくり講座，相談	一般市民	・健康づくり啓発普及のための講話と個別相談	講話10回、相談11回予定	講話10回118人 個別相談7件	若林区保健福祉センター
9	特定健診・基礎健診事後指導セミナー【新規】	健診の結果、血糖・脂質・血圧が要指導等の者	生活習慣病予防のためのセミナー（医師講話・栄養講話・運動等）	2回コース 6/17、6/23	実26人、延50人	若林区保健福祉センター

10	生活習慣病予防教室	HbA1c要指導者	・糖尿病発症予防のための教室	3回	参加人数延べ42名	青葉区保健福祉センター
11	糖尿病予防啓発	一般市民	世界糖尿病デー啓発	10・11月 ①市民Cまつり 3回 11月 ②講演会 1回	①参加者 975人 ②参加者 13人	宮城野区保健福祉センター
12	糖尿病予防講座 (健康づくり講座)	HbA1c要指導者 血圧またはLDL要指導者	・糖尿病発症予防のための講座(健康づくり講座) ・H26当該事業参加者対象に食事・運動についてのフォローアップ講座を実施 ・HbA1c, 血圧またはLDLが高めの方を対象として医師講話, 食事, 運動の3回コースで実施予定 1/14医師講話(A,B共通) AコースHbA1c(1/26食,2/8運動) Bコー	5月 1, 2月予定	フォローアップ講座13名 健康づくり講座 延べ141名	太白区保健福祉センター
13	生活習慣病予防講座	特定健診・基礎健診の結果, 生活習慣改善が必要な者	・生活習慣病予防のための講座	未定	今年度実施予定なし	泉区保健福祉センター
14	生活習慣改善相談	一般市民	・予約制の個別健康相談	月1回	延 40名	太白区保健福祉センター
15	健康づくり相談	一般市民	・相談とミニ講話による食生活や生活習慣改善のための支援	個別相談 月1回 開設 ミニ講話 7月, 12月, 2月実施	個別相談:延べ27名 ミニ講話:延べ58名	泉区保健福祉センター
16	食生活・栄養相談	一般市民	・訪問, 電話, 来所による栄養相談	通年	訪問相談:14件 電話・来所での相談:281件	各区保健福祉センター 総合支所
17	被災者の食生活支援	仮設住宅等入居者	・仮設住宅集会所, 中核支えあいセンター等での食生活相談 ・地域被災者健康相談等での講話, 食生活相談 ・訪問, 電話, 来所による食生活・栄養相談 ①健康応援団・サロンでの栄養講話や栄養相談 ②訪問・電話・来所による栄養相談	講話・相談会2回 ①通年 ②通年	実施回数:8回 参加人数:延べ67人 ①講話延43回 参加延357人 ②相談件数 0件	各区保健福祉センター 総合支所 宮城野区保健福祉センター

取り組みの方向性 ①-E 健康づくりのための食情報が手に入りやすい環境をつくります

具体的な取り組み ①-E-1 健康づくりの実践に役立つ栄養・健康情報を広く提供します

・健康づくり関係のイベント、講座等で、和食などバランスのよい献立の考え方や、食事バランスガイドの活用方法の情報を発信

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口の健康週間 市民のつどい 《①-A-1 再掲》	一般市民	・歯科医師会と、宮城県栄養士会・他各団体が連携して実施。 ・食に関する講演の実施 ・「早ね・早起き・朝ごはん!!口と健康を守る食生活コーナー」にて、食の大切さについて啓発（宮城県栄養士会）	6月6日（土）	6月6日（土） 参加者数 638名 栄養展示コーナー 379名	仙台歯科医師会 宮城県栄養士会
2	いい日いい汗栄養まつり	一般市民	・健康づくり関係団体と連携し、最新の健康・栄養情報を食事診断、健康・栄養相談、栄養講話等、実際の体験を通じて普及啓発	11月8日	参加者 600名 栄養相談コーナー99名 公開講座 165名	宮城県栄養士会
3	健康づくり公開講座	一般市民	・最新の健康・栄養情報を、調理実習も加えて普及・啓発する。 第1回 高血圧 「1食2.5gの調理の工夫」 第2回 脂質異常症「食物繊維摂れてますか」 第3回 糖尿病 「糖尿病食は健康食」	今年は県北で開催	栗原で3回開催 合計76名	宮城県栄養士会
4	栄養ヘルスダイアル 《①-A-1 再掲》	一般市民	・健康や栄養、食生活、生活習慣病に関して、電話またはメールによる栄養相談窓口を開設する。	通年	3件	宮城県栄養士会
5	栄養ケア・ステーションにおける栄養指導・講演会等への講師派遣	一般市民	①医療機関での栄養指導 ②特定保健指導 ③市民センター、幼稚園、児童館、福祉協議会、支援センター等の栄養講話や、調理実習	通年	①延 760件 ②延 925件 ③28ヶ所 653名	宮城県栄養士会
6	マスコミや執筆による情報提供	一般市民	・栄養相談（げんき倶楽部「杜人」の質問回答など）や、食の情報提供など	月1回 通年	病院・診療所・福祉施設・公共施設に月1万2千部 配布	宮城県栄養士会
7	仙台市介護予防月間	一般市民	・バランスのよい食事について展示 ・栄養相談（バランスチェック）	11月8日	栄養相談コーナー 50名	宮城県栄養士会
8	食育講話【追加】	一般市民	市民活動サポートセンター講座、NHKラジオ出演 CAT-V TV出演等において 一般市民に食育や栄養情報の発信	通年	今年度実施なし	宮城県栄養士会
9	男女参画企画 ガールズゆるり講座 10代～シングル女性向け料理教室【追加】	一般女性	エル・ソーラ仙台	年2回実施 2015年度は 6/12と2/29		宮城県栄養士会

10	はればれ健康フェスタ【追加】	一般市民	・柔道整復師会と宮城県栄養士会、他団体と連携して実施 講演の部 いつまでも元気に暮らすための食事 ・栄養相談コーナー	9月27日	延 400名 栄養相談 46名	宮城県栄養士会
11	いず☆ちゅう健康祭【追加】	一般市民	健康増進センター主催宮後県栄養士会他団体と共催 パネル展示栄養相談コーナー	11月15日	延 2676名 栄養相談 32名	宮城県栄養士会
12	市民センター・児童館の食育講座の講師派遣	一般市民	・調理実習や栄養講話	11月28日 12月5日 11月17日	六郷市民センター親子25組 旭ヶ丘児童館 親子10組 宮城野区まちづくり推進課 50人	仙台市地域活動 栄養士会
13	リーフレット「非常時の離乳食」作成	一般市民	・リーフレット「非常時の離乳食」の作成	イベント時等で配布	託児付き料理教室やまふあ 会・のびすく仙台的防災イ ベントで配布	仙台市地域活動 栄養士会
14	子ども向け非常食啓発	一般市民	非常食試食 展示・バーラちゃん非常食BOOK紹介	エルパーク展示継 続中		仙台市地域活動 栄養士会
15	子ども向けレシピ提供 食育イベント時講師派遣	一般市民	環境省 東北大学 環境遺伝医学総合研究センターエコチル調査宮城ユニットセンター より依頼	平成27年3月よ り継続中	2015年3月・11月環境 省エコチルHPレシピ掲載	仙台市地域活動 栄養士会
16	一人暮らしのための食育講座	女子大生	一人暮らしの女子学生を対象に毎日の食生活を豊かにするための一助として、クッキング講座を開催した。一人暮らしをしていると、どうしても食生活が不規則になってしまったり、主食のご飯があまることが多い。そこで食事バランスガイドの見方や活用についての講義とご飯を様々な料理にアレンジする方法を取り入れた実習を実施した。	5月30日(土) 10時～13時	女子大生37名	仙台白百合女子 大学
17	地産地消おとなの料理と食育講座【新規】	地域住民	吉成市民センター、食生活改善推進員との連携により、地元食材を使い健康を意識した料理を学ぶ調理実習と、食育講話の実施。	7月16日 9月10日 1月21日	7月16日 14名 9月10日 13名 1月21日 15名	宮城総合支所
18	各区ホームページの食育のページでの情報提供 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイドや栄養成分表示の活用、おすすめレシピ紹介、関係機関等へのリンクなど	随時更新	随時更新	各区保健福祉セ ンター 総合支所
19	健康づくり情報コーナーの設置 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食事バランスガイド、健康づくりサポート店、生活習慣病予防の食生活等のパネル展示、レシピや資料配布	通年	各区・支所ごとに設置	各区保健福祉セ ンター 総合支所
20	区民まつりや地域のまつり、イベントでの啓発普及	一般市民	・健康づくりブースでの啓発普及 ・食事バランスガイドの紹介、活用方法の普及など ・クイズや演習など、媒体を活用した展示等	随時	実施回数：11回 参加人数：延べ2,098人	各区保健福祉セ ンター 総合支所
21	健康増進普及月間事業	一般市民	・健康づくりに関する講演会 ・市政だより、ホームページ、庁内放送、パネル展、資料配布等による普及啓発	9月	講演会：1回 講演会参加人数：66名 啓発人数（資料配布等）：延 べ2068人	各区保健福祉セ ンター 総合支所
22	各種研修会、講座、相談事業における情報提供	一般市民	・健康教育や生活習慣病予防講座、健康相談などで、食事バランスガイドの活用方法などを普及	随時	随時実施	各区保健福祉セ ンター 総合支所
23	被災者向け健康情報紙の発行	仮設住宅居住者等	・栄養・健康情報、レシピなどを掲載した被災者向け健康情報紙を作成し、仮設住宅等に配布する	通年	若林区：2回 延べ3,385部 泉区：650部 太白：660部発行 宮総：586部	宮城総合支所 若林区、太白 区、泉区保健福 祉センター

具体的な取り組み ①-E-2 食品販売業者、スーパーマーケット、飲食店、ホテル、旅館等との連携により、食に関わる場から広く情報を発信します

- ・店舗や施設内で、食生活情報や食事バランスガイドの活用方法などを発信《拡充》
- ・メニュー等への栄養成分表示等実施店（健康づくりサポート店）の登録推進

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食生活提案の展開	一般市民	「みやぎ生協は“食”をだいに健康づくりをすすめます」として、4つの基本テーマに沿った食生活提案をすすめる「みやぎ生協の食生活提案」の紙芝居を改訂しました。実践として、「日本型食生活の料理教室」を実施する。	年間6回 食育活動委員会で の学習1回	「みやぎ生協は“食”をだいに健康づくりをすすめます」として、4つの基本テーマに沿った食生活提案（「みやぎ生協の食生活提案」）をすすめています。実践として、「たべるたいせつ日本型食生活料理教室」は県内6ヶ所で「乳和食」をテーマに開催しました。参加者105人 (仙台1回、24人)	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
2	食育活動委員会の活動	一般市民	・食育に興味のあるメンバーが登録 ・みやぎ生協の食育活動や他の食育活動を学びながら、「たべる・たいせつ料理教室」や「5A DAY食育体験ツアー」の運営を行う	年間10回 (8回終了)	食育に興味のあるメンバーが23人登録し、みやぎ生協の食育活動や他の食育活動を学びながら「たべる・たいせつ日本型食生活料理教室」や「5ADAY食育体験ツアー」の運営を行いました。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
3	スーパーマーケットの啓発活動《①-A-1再掲》	一般市民	・ホームページを活用した食情報の提供		通年	日本チェーンストア協会東北支部
4	食育サポーターの活動支援	食育サポーター	・スーパーマーケットの食育イベントでの食育サポーターの活動支援	未定	今年度は予定なし	宮城野区保健福祉センター
5	健康づくりサポート店推進事業（10月より「食で健康づくりサポート店推進事業」）	一般飲食店、給食施設、食料品等販売店 一般市民	・メニュー等へ栄養成分表示や食事バランスガイド表示をする店舗（健康づくりサポート店）の登録を推進 ・健康づくりサポート店を市民に周知、栄養成分表示等の活用方法などを啓発【10月より「食で健康づくりサポート店推進事業」】 ・受動喫煙防止宣言施設の開始に伴い、健康づくりサポート店推進事業が終了。新たに食で健康づくりサポート店推進事業として、栄養成分表示やバランスメニュー、野菜たっぷりメニュー、塩エコ（塩分控えめ）メニューのいずれかを提供する店舗の登録を推進	4～9月 10月～（食で健康づくり応援店） 推進事業	（参考）健康づくりサポート店登録店舗数：595店舗 食で健康サポート店参加店舗数：21店舗 相談・指導件数：17件 登録PR活動件数：53件	健康福祉局 各区保健福祉センター 総合支所

取り組みの方向性 ①-F 乳幼児からの日々の食育活動を充実させます

具体的な取り組み ①-F-1 保育所の食育計画に基づき、日々の生活の中で子供たちへの食育を充実させます
 ・保育指針に基づき、食事のマナー、食習慣、食事前後の衛生習慣などの働きかけ

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所における食育の充実	保育所入所児童と保護者	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度に作成した「仙台市保育所における食育の手引き」をもとに、各施設において「食育の計画」並びに「食育活動計画」の見直しを行い、保育の中での食育を推進する。 毎日の食事の提供や食事の場面を通して、食事のマナーや食習慣、食事前後の衛生習慣を身につけるよう働きかける 各施設での食育活動を通して、朝食を毎日バランスよく食べる家庭が増えることを目指す。 	通年 働きかけ 公立 1,451回 私立 2,730回 4月～3月 公立 184回 私立 533回	<ul style="list-style-type: none"> 年間食育計画・食育活動計画は全施設で作成し実施している。 公立 38,773名 私立 74,429名 朝食の働きかけ 公立 10,106名 私立 31,404名 	保育所 私立保育所(園) 子供未来局

具体的な取り組み ①-F-2 食べる事が楽しくなる体験を通して、子供たちに、食べることの大切さを伝えます
 ・作物を栽培・収穫し食べる体験
 ・収穫物を給食に利用
 ・市場の農水産関係業者による料理体験教室

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	歯と口腔の健康づくり教室	園児	・若林区保健福祉センターと若林地区の仙台歯科医師会会員が連携して、「歯と口の健康づくり教室」の実施。	1回	2月9日	仙台歯科医師会
2	地域住民への啓発活動	一般市民	・「若林区民ふるさとまつり」の健康づくりフェスティバルでの食に対する啓発	1回	10月18日	仙台歯科医師会
4	食べるのが楽しくなる食育	園児と保護者	・おいしいと感じること、体験することを重視し、また、食育情報として子どもの様子を知らせたり、食のマナーについて伝えていく	通年	各園、園便り等にて知らせる 明治食育セミナー(保護者60名)	幼稚園 私立幼稚園連合会
		園児	・作物を栽培、収穫し食べる体験	通年	栽培園での、野菜の収穫(きゅうり、芋掘り、大根抜き等)	
5	偏食を減らすための取り組み	園児	<ul style="list-style-type: none"> 食材の成り立ち・旬・栄養素についてなど知ることで食事に対して関心が深まるようにする。 意欲的に食事を知るようになるにはどうすればいいか探る 	通年	160名 「シチューを作ろう」	幼稚園 私立幼稚園連合会
6	畑作りとその収穫物を利用した食事作り	保育所入所児童	<ul style="list-style-type: none"> 畑作りの年間計画をたてる 子どもに、作物の世話や成長の観察、収穫を通じた働きかけを保育の中で実施し、食べる体験までつなげる。 収穫物を計画的に給食のメニューに取り入れる。 	通年 4月～3月 ・収穫 公立 1,655回 私立 2,208回 ・メニュー取入れ 公立 1,351回 私立 1,557回	計画立案 公立38か所 私立96か所 ・メニューに取入れ食した人数 公立 80,931名 私立 78,946名	保育所 私立保育所(園) 子供未来局

取り組みの方向性 ①-G 食事づくりなどを体験する場を増やします

具体的な取り組み ①-G-1 子育て世代向けの調理体験や親子で楽しくつくって食べる体験を応援します
 ・子育て世代向け、乳幼児・小学生とその保護者向けの体験講座《拡充》（保育所・幼稚園・児童館・市民センター・社会学級等と連携）

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	親子の食育教室	児童と親	・食育の5つの力「①料理ができる力②食べ物の味がわかる力③元気なからだがわかる力④食べ物のいのちを感じる力⑤食べ物を選ぶ力」について、バイキングでお料理をバランス良くプレートで選び主食・主菜・副菜・牛乳・乳製品・果物の選ぶ力を勉強する。	年長から小学生を対象 (時期未定)		仙台市食生活改善推進員連絡協議会(宮城)
2	親子の食育教室 (川前児童館依頼)	子どもと親	・川前児童館で1~3才の子どもと親、食改員がはっと汁をつくり、はっとを子どもたちが手で小さくちぎり、鍋に入れて試食	6月25日(木)	親子で40名、食改員	仙台市食生活改善推進員連絡協議会(宮城)
3	親子料理教室・大人のお魚教室開催	親子・成人	・食育NPO、株式会社仙台水産と共催し、「お魚がきっと好きになる料理教室」「大人のお魚教室」を開催。宮城の旬の魚介類を素材に、調理や学習の援助を実施	お魚がきっと好きになる料理教室・大人のお魚教室各4回	「お魚がきっと好きになる料理教室」は4回開催参加者親子42組94人、大人のお魚教室は4回で80人参加。親子を対象に、産消直結ぐみ野品やコープ商品の学習と調理実習を行う、「コープ商品で作る親子クッキング」(春11組25人、秋12組25人)「夏休み親子クッキング」(参加14人)などを開催しています。	宮城県生活協同組合連合会(みやぎ生協)
4	料理教室の開催		子供たちの豊かな食生活と健康のために、「あいぶらんど」を活用した料理教室を開催	18回	のべ345名	宮城県生活協同組合連合会(あいコープみやぎ)
5	父親育児参加推進事業のびすく仙台「パパ'sクッキング」	乳幼児のいる父親	・父親が参加しやすい土日にガスサロンを会場に料理教室を開催	年2回開催	開催回数：2回 参加数：1回目 8組24名 2回目 11名	子供未来局
6	調理講習会in学校給食センター	小学生とその保護者	・学校給食センターの見学や調理実習を通じて、食の大切さについて学ぶ機会を提供	7月	12組(24名)参加。 「親子で作る夏野菜を使ったお昼ごはん」をテーマに実施	教育局
7	母と子の食育教室(今日もバクバク元気っ子くらぶ)	幼児と保護者	・食育講話とクッキングやクイズ等を組み合わせた体験型教室	3回	参加 30組	宮城野区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-G-2 地域の中で、様々な年代が、体験を通して、健康的な食のあり方を学ぶ機会をつくります

- ・子供や親子を対象とした、産地見学、収穫体験、料理教室、スーパーマーケット体験
- ・地域のなかで幅広い年代が参加できる食育教室

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	生涯骨太クッキング教室	地域の住民	・「生涯骨太」講話と乳製品を使った調理実習 メニュー (主食) 桜海老の炊き込みごはん (主菜) 鮭と大根の和風スープ (副菜) 豆腐と野菜のチーズチャムルー (デザート) パインのアップサイドダウンケーキ	2月28日実施	15名 参加者全員大変喜んでくれました。	仙台市食生活改善推進員連絡協議会 (秋保)
2	5A DAY食育体験ツアー	小学生	・2005年から実施している「5A DAY食育体験ツアー」は、店舗の集会室を活用して食育の授業を行うもので、今年度も継続開催する	5月～12月に 仙台市内の小学校 15校、生協の店舗 で44回開催	1418人の児童が参加しました。	宮城県生活協同組合連合会 (みやぎ生協)
3	ワンプレートで和のごはん【追加】	成人	「日本型食生活」を普及し実践する人を増やすことを目的として、仙台市地域活動栄養士会から講師の派遣とメニュー提案をご協力いただき、料理教室を開催する。	1月～2月	実施回数 5回 参加者 53人	宮城県生活協同組合連合会 (みやぎ生協)
4	スーパーマーケット体験学習	小学生	・小学生を対象としたスーパーマーケット体験学習の実施			日本チェーンストア協会東北支部
5	出前食育授業	未就学児・小学生・中高生	・スタッフが会場に出向いて食育授業を実施 (児童館・保育園等)	2回 (6月・12月)	合計100名	日本チェーンストア協会東北支部
6	健康支援事業	仮設入居者および復興住宅入居者	仙台白百合女子大学と味の素 (株) との共同事業による仙台市内の仮設入居者および復興住宅入居者を対象とした健康維持・増進のための食生活講座を含めた料理教室を開催した。	年20回 (うち5回担当)	50～70代男女10～25名	仙台白百合女子大学
7	みやぎ県民大学講座「実践的な減塩法で健康増進」【追加】	一般市民	一般の市民を対象におしさを減らすことなく、無理なく食塩量を抑える食事について考えるとともに実際に減塩食について演習や味覚検査、実習を含めた講座を行った。	8月6、7、8日の3回	参加者 各回25～30名	仙台白百合女子大学
8	地産地消おとなの料理と食育講座【新規】 (①-F-1再掲)	地域住民	吉成市民センター、食生活改善推進員との連携により、地元食材を使い健康を意識した料理を学ぶ調理実習と、食育講話の実施。	7月16日 9月10日 1月21日	7月16日 14名 9月10日 13名 1月21日 15名	宮城総合支所
9	親子で農業体験in東六郷【新規】	民生委員と、企画に参加する親子	若林区中央市民センターの企画に協力。収穫した野菜を使って塩エコ (減塩) メニューの調理実習・試食を行った。	12月1回	大人14人 子ども9人 参加	若林区保健福祉センター
10	子供の食育講座	小学生	・児童館・児童センターと共催により、調理等の体験型の講座を通して、食事の大切さ、食べる楽しさを学ぶ	6月17日	小学校低学年30名	泉区保健福祉センター

具体的な取り組み ①-G-3 若い世代の食事づくり体験を応援します

- ・若者から若者に伝える講座
- ・関係主体が協働で実施する、若い年代対象の体験講座や体験型イベント

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	若い世代への食体験講座	子育て世代	・食生活の基礎を、調理実習等を交え楽しく具体的に伝え、実践につなげる	実施予定なし		太白区保健福祉センター

推進の柱② 地域の食文化を伝えあおう

取り組みの方向性 ②-A 地域のつながりをベースに、お互いに食文化を伝え合う活動をすすめます

具体的な取り組み ②-A-1 給食や季節ごとの行事を通じて、行事食、郷土食にふれる機会をつくります

・保育所・幼稚園の給食の献立や行事に、行事食や郷土料理を取り入れ、給食の展示、献立表、おたより等で保護者に紹介

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	保育所給食における食文化の継承	保育所入所児童	・給食の献立や行事に、行事食や郷土料理（伝統食）を提供することを通じて地域の食事を味わったり、由来を知ったりする。	4月～3月 取入れた回数 公立 649回 私立 1,787回	食した延人数 公立 52,581名 私立 152,951名 保護者への啓発 公立 527回 私立 1,653回	保育所 私立保育所(園) 子供未来局

具体的な取り組み ②-A-2 学校給食を通じて行事食、郷土食を伝えます

・学校給食の献立に取り入れるとともに、献立表、給食だよりで保護者に紹介

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	学校給食を生きた教材として活用した食育の推進	児童生徒・保護者	・給食の時間における食に関する年間指導に基づいて、地域の郷土食や行事食を提供することを通じて、地域の食文化や伝統に対する理解を深め、食への関心を高める。併せて保護者へも献立表や給食だよりで紹介し、家庭における食育を促す。	随時	各学校において随時実施	小・中学校 教育局

具体的な取り組み ②-A-3 地域で開催される様々な行事や催し等で、地域の食材を活用し、郷土料理、行事食などの食文化を伝えます

・地域のまつり、イベントでの情報発信
・伝統野菜、行事食の講座・学習会、新米試食会等地域の食材を活用した講座

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	健康のつどいででの普及啓発	一般市民	・地域の各団体との共催事業である「健康のつどい」の会場において、郷土料理や地域の食材を紹介するブースを設置 ・試食をとおして減塩の呼びかけを実施 (献立) ①春菊のピリ辛スープ②キャラメルポテト	12月4日	109名 試食はいつも好評でした。	食生活改善推進 連絡協議会(秋保) 秋保総合支所
2	日本型食生活提案【追加】	一般市民	①6月15日～7月5日 初夏のこ～ぶのつどいでのお知らせ ②11月16日～12月6日 秋のこ～ぶのつどいでのお知らせ ③広報誌ラクミー12月号の紙面でお知らせ	①13600部発行 ②13600部発行 ③20万部発行	①9,735人 ②約11,000人(集計途中で す)	宮城県生活協同 組合連合会(みやぎ生協)
3	食育月間、みやぎ地区まつりでの紹介	一般市民	・地域の食材を使用した料理の紹介 ・レシピ配布	6月食育月間での レシピ配布	食育月間でのレシピ配布 50 川前児童館親子ではっと汁作 り、6月25日、17組24 名、6月26日、17組24 名	宮城総合支所
4	保健センターまつりでの情報発信	一般市民	・市民センターまつりと共催で行い、地域の情報発信	10月 東中田, 茂庭台, 生出	栄養相談 33件	太白区保健福祉 センター
5	子育てについてのイベントでの情報発信	子育て中の保護者とその子ども	・「いずみんおやこフェスティバル」における食育の情報発信《①-A-2再掲》 手作りおやつを試食 葉や土がついた野菜や芋を展示	10月28日	614名参加	泉区保健福祉セ ンター

推進の柱③ 地産地消をすすめよう

取り組みの方向性 ③-A 子供たちの身近な場で地産地消を実践します

具体的な取り組み ③-A-1 保育所給食・学校給食に地場産食材を活用します

・地域、団体、行政の協力体制により、保育所、学校給食に地場産品を活用

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	JA仙台食農教育プラン「2013」の実践	小・中学生	・学校給食の食材（米・野菜等）の供給			農業協同組合
2	保育所給食における地場産物の活用推進	保育所入所児童と保護者	・地域の生産者との連携により、米や季節の野菜を給食のメニューに取り入れる。 また、生産者と児童が野菜や食材を通して交流を図り、流通について学んだり、感謝の気持ちを持つ。 ・保護者にも活動の様子を伝え、地元の食材に関心を持ってもらう。	通年 ・メニュー取入れ 公立 30,605回 活動報告 61回	生産者から直接購入 公立：7か所 私立：22か所 県内産の食材を使用した割合 6月:25.5% 11月:25.2%	保育所 私立保育所(園) 子供未来局
3	学校給食連携事業【新規】	児童生徒	経済局と教育局が連携し、特徴のある仙台産農産物を給食に取り入れ、児童生徒に旬の地場食材を実感させるとともに、農産物の認知度向上と消費拡大を図る。	11～1月・191校各校1回	11月～1月に市立学校（学校給食実施校）191校で仙台産野菜を取り入れた給食を実施 4種の仙台産野菜約2,000kgを学校給食で提供	経済局 教育局
4	「せんだいっ子給食月間」	児童生徒	・6月に「せんだいっ子給食月間」を設け、地場産物の活用状況についての調査を行う。	6月	単独調理校、給食センターにおける地場産物の活用状況について調査を実施【地場産物活用率28.1%】	教育局

取り組みの方向性 ③-B 仙台市ならではの特徴を活かした生産・流通関係者との交流、体験の場をつくります

具体的な取り組み ③-B-1 地場産の食材や地産地消について知る機会をつくり、広く情報を発信します

- ・スーパーマーケットの県産農林水産物を活用した商品開発や、消費者向け学習会、伝達活動
 - ・テレビ番組、ホームページでの情報発信
 - ・せんだい産農産物表示マーク（愛称:ここでちゃん）の普及
 - ・地産地消サポーター事業
 - ・市場見学への対応

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地場商品の普及活動の実施	一般市民	・毎月第一土曜日の「地産地消の日」に、「お米の日」として米生産者による試食推奨活動、商品のPRを行う。毎月15日に「めぐみ野」品（産直品）の普及活動の日に設定し普及活動に取り組んでいます。	第1土曜日に「めぐみ野」米の普及活動、毎月15日にめぐみ野品（地場商品）の普及活動を実施。	普及の活動、秋祭りでの普及の活動は216回2,650人が参加しています。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

2	食のかたりべ活動	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 食に興味のあるメンバーが登録し、「みやぎ生協の食品の安全総合政策」を通してメンバー自身が「食」について学習し、その内容を他のメンバーに伝える活動を行う 	4月～10月、食のかたりべ養成講座(4回)及び産地研修会(2回)に参加。	食に興味のあるメンバーが登録し、「みやぎ生協の食品の安全総合政策」を通してメンバー自身が「食」について学習し、その内容を他のメンバーに伝える活動を行う。4月～10月、食のかたりべ養成講座(4回)及び産地研修会(2回)に参加して、メンバーのつどい会場などで129回かたりべ活動を行いました。	宮城県生活協同組合連合会(みやぎ生協)
3	食育体験ツールの提案	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の花から野菜の名前を当てたり、どこを食べるかなどを考えることで食を考えるツールや、みやぎ生協の「新・食生活提案」の紙芝居を提案。親も子も気軽に取組めるきっかけづくりとして好評で、様々な場面で活用できるよう取り組みを広げる。食育の学習教材として「みやぎの旬」カード、「大地の恵み31・海の恵み38選」の作成を計画。 	9月に、食育の学習教材として「みやぎの旬」カード、「大地の恵み31・海の恵み38選」を作成しエリアに配布。今後食育のツールとして活用します。2月に「五感でわいわい～どこを食べる野菜？」を作成しエリアに配布しました。	9月に、食育の学習教材として「みやぎの旬」カード、「大地の恵み31・海の恵み38選」を作成しエリアに配布しました。今後食育のツールとして活用します。野菜の花から野菜の名前をあてたり、どこを食べるかなどを考えることで食を考えるツールやみやぎ生協の「食生活提案」の紙芝居を、たべるたいせつ料理教室やつどい会場で活用しました。	宮城県生活協同組合連合会(みやぎ生協)
4	スーパーマーケットの地産地消の取り組み	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 県産農産物、加工品を活用した商品開発、販売による地産地消の推進 			日本チェーンストア協会東北支部
5	せんだい産農産物表示マーク(愛称:ここでちゃん)の普及	一般市民	各種イベントでせんだい産農産物表示マーク(愛称:ここでちゃん)の普及。HPでの啓発。生産者や販売者、飲食店へのマークの普及	随時	地産地消まつり(9/26,27)、エコファーマーフェア(11/12,13)等でPR	経済局
6	地産地消推進サポーター事業	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消推進サポーター募集登録、パンフレット等の配布 	随時	各サポーター登録人数 ※3/31現在 消費者233名 生産者83名 販売店82名 飲食店65名	経済局
7	NHKテレビひるはび「旬の金曜日～市場中継～」	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県産を中心とした旬の食材と、その美味しい食べ方等を紹介する 	放送回数 36回		経済局

8	小学校、一般市民などの市場見学への対応	一般市民	・食品流通の仕組みと市場の役割について理解を深めてもらう。	実施時期(回数) ①随時 ②8月(2回)	①管理課49団体698名 ②業務課 (夏休み親子市場見学会) 30組87名	経済局
9	ホームページでの情報発信	一般市民	・学校、仙台市教育委員会のホームページで地場産物活用献立の紹介などを広く発信する。	随時		教育局

具体的な取り組み ③-B-2 多くの消費者と生産者が交流する機会をつくります

- ・生産者と消費者の交流イベント
- ・大学生や一般消費者対象の産地見学

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地産地消おとなの料理と食育講座(吉成市民センター共同事業)	大人(15名)	・地元ベテラン農家から学ぶ郷土料理 地元食材で作るおいしいたべもの、交流を目的とした会、皆で楽しく食べられる料理と食育についてのお話 7/16(木)はたけのご飯、きゃらぶき、きゅうり引き 9/10(木)はなすのずんご和え、しそ巻、たたきごぼう、おくずかけ、むしとりのサラダ 1/21(木)は田づくりごぼう、はっと汁、野菜の浅づけ、がんずき	平成27年7月16日(木)、9月10日(木) 平成28年1月21日(木) 吉成市民センター	実施回数 3回 ・7/16(木) 15名 ・9/10(木) 15名 ・1/21(木) 15名	仙台市食生活改善推進員連絡協議会(宮城)
2	産地見学会	一般市民	・生産現場の見学を行い、生産者の取り組み、生産方法や生産のこだわりを学習する	産地見学会 2015年12月までに89回開催。	生産現場の見学を行い(志津川漁協、JAみどりの、JAみやぎ仙南、JAいしのまき、柳生産直会、和雄と一郎農場、鳴子上原酪農組合等)、生産者の取り組み、生産方法や生産のこだわりを学習する。産地見学会 2015年4月~12月で89回開催。延2,815人が参加しました。	宮城県生活協同組合連合会(みやぎ生協)
3	キッズスクール	組合員の子ども	・子ども達が水環境について学ぶ。その一環として農産生産者の圃場を訪ね、生産交流を行う。	2の企画に盛り込む。	2の企画に参加した子供たちの「絵日記」や、感想を集めた子ども新聞を作った。	宮城県生活協同組合連合会(あいコープみやぎ)
4	生産者訪問	組合員	・生産者を訪問し、生産現場の様子、工夫などを知り、顔の見える関係を築く。	7回	のべ200名	宮城県生活協同組合連合会(あいコープみやぎ)
5	食に関する学習会開催	組合員 一般市民 生産者	・食の現状や、農薬について専門家の話を聞き、自分達の食生活を見直す	①7月;講演会 ②9月;映画と講演の会2回 ③11月;添加物学習会9回	①52名 ②101名 ③124名	宮城県生活協同組合連合会(あいコープみやぎ)

6	産地体験会	大学生	<ul style="list-style-type: none"> 学生食堂で利用している食材の産地体験会を開催し、生産者と交流しながら食材の収穫を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 7月5日(日) トマト狩りを予定。産地は岩手県ひらいずみ地区。 10月3日(土)、4日(日) 岩手一方井のキャベツ収穫体験 	<ul style="list-style-type: none"> 7月5日(日) 学生職員を含めて41名の参加。トマトの収穫体験、生産者との交流会とトマトについて学習会の実施。一部会員から収穫の時間が短すぎて参加させられないという意見もありました。 キャベツの収穫体験は学生職員を含めて22名の参加。学習会では生産者からのお話し、野菜の流通、生協での取り組みの紹介、野菜と栄養について学習を実施しました。 	宮城生活協同組合連合会 (大学生協)
7	仙台市旬の香り市	一般市民	<p>仙台市内の生産農家が直売をする</p> <p>①仙台市勾当台公園グリーンハウス勾当台前 ②その他</p>	4~11月 6回予定	6回開催 延べ48店舗出店	経済局
8	地産地消推進サポーター事業	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 仙台市内の生産現場や、地産地消に取り組む販売店や飲食店の見学を行う。 	<p>4/27 播種体験1 7/29 合同見学会・交流会1 8/10 収穫体験1 8/27 消費者現場見学会1 9/5 播種体験2 11/6 消費者現場見学会2 11/7 収穫体験2 3/1 合同現場見学会・交流会2</p>	<p>消費者サポーター20名参加 生産者・販売店・飲食店サポーター8名参加 消費者サポーター19名参加 消費者サポーター22名参加</p> <p>消費者サポーター21名参加 消費者サポーター24名参加</p> <p>消費者サポーター18名参加 消費者・生産者・飲食店サポーター21名参加</p>	経済局
9	地産地消講演会	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 地産地消を推進し、仙台産農産物の消費拡大を図るためのイベント。地産地消まつりと同時開催 	9月27日	約150名参加	経済局
10	収穫まつり開催	一般市民	<ul style="list-style-type: none"> 生産者と消費者等の相互交流を図るためのイベント 	11月6日	<p>出展数 32店舗 来場者数 13,000名</p>	経済局

具体的な取り組み ③-B-3 市民や子供たちが生産者とふれ合い、農業を体験する機会をつくります

- ・農業施設見学、農業体験の場の提供と農作業体験指導
- ・レクリエーション農園、学童農園等の運営支援

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地域行事での食育	小・中学生	・田植えや収穫などの農業体験活動			仙台市PTA協議会
2	生協と生活者が一緒に稲を育てる	一般市民	・メンバーが家庭で稲を育てる。バケツ稲栽培コンテストを実施し、メンバー自身が自分で稲を育てる体験をする。 ・産地で春に田植え体験、田んぼの生き物調査、秋には稲刈り体験を実施	バケツ稲の配布 5月24日、31日配布。 バケツ稲栽培コンテスト 10月18日開催。	・メンバーが家庭で稲を育てる。バケツ稲栽培コンテストを実施。21店舗でバケツ稲を配布し、メンバー自身が自分で稲を育てる取り組みに713家族が参加。 ・産地で春に田植え体験、田んぼの生き物調査、秋には稲刈り体験を実施。JAみどりの、JA宮城仙南（角田・丸森）めぐみ野たんぼの学校、田植え体験73人、田んぼの生き物調査62人、稲刈り体験49人。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）
3	農業体験の実施	一般市民	・あいコープの交流田は、「えんのう」の皆さんに田植え、草取りをしてもらい、生産者に管理していただく。実りの秋には稲刈りをします。	5月～10月 7回実施	のべ350名	宮城県生活協同組合連合会（あいコープみやぎ）
4	JA仙台食農教育プラン あぐり塾の開催	一般市民	・第5期生を募集し、21名の塾生が誕生した。塾生は、1年を通し稲作・野菜・果樹（りんご）剪定、搾乳体験、しいたけ植菌作業、座学講習などを受講する。 ◆ 稲作：田植え・生きもの調査・稲刈り・新米試食会 等 ◆ 野菜：各種野菜苗を配布（品種や本数は未定） 実施 → 6月か7月に1回 ◆ 果樹：着色管理と収穫作業 ◆ 座学：施設見学、豆腐づくり ◆ しいたけ：植菌作業	◆ 4/18開塾式 ◆ 5/16田植え ◆ 6/13林檎の摘果 ◆ 7/11田んぼの生き物調査 ◆ 10/3稲刈り ◆ 10/17新米試食会 ◆ 11/28林檎の収穫 ◆ 12/19豆腐づくり講座 ◆ 修了式 H28.1/23	8回開催し、延べ116名参加。	農業協同組合
5	JA仙台食農教育プラン 学童農園	小学生	1. 農作業体験（地区青年部が主体となって実施） ◆ 田植え 馬場小、富沢小、西多賀小、長町南小、新田小 ◆ 生きもの調査 新田小 ◆ だいこん種まき 白百合学園中等部 ◆ 稲刈り 馬場小、富沢小、西多賀小、新田小、生出小、大沢小 ◆ じゃがいも播種・収穫 杉の子保育園	◆ 田植え→5月中旬～下旬 ◆ 生き物調査→7月実施 ◆ 稲刈り→10月実施 ◆ 大根&出前講座→8月実施	各地区の青年部・営農センター職員が主に指導を実施している。	農業協同組合

6	JA仙台食農教育プラン 豆腐づくり講座	小学生	○地場産大豆を使って豆腐づくりを指導 1回35人前後で3時間ほどの講座（750gの大豆使用） ◆今年度も募集し参加校を募ります。	7月上旬、各市町村の教育委員会を通じ案内書を送付。その後、学校と日程を調整し11月上旬から講座を開始。 3月末日現在、14日間、14回開催。	8校⇒児童数474名	農業協同組合
7	レクリエーション農園、学童農園設置促進事業	一般市民、児童	・市民や子どもたちが「農」と触れあい、体験できる機会の充実を図るための各種農園設置への支援 (レクリエーション農園については開設に係る相談等の対応)	・学童農園77農園65校（中学校2、小学校42、幼稚園14、保育園7） ・レクリエーション農園 補助1件	・学童農園79農園66校（中学校2、小学校42、幼稚園14、保育園8） ・レクリエーション農園 補助1件	経済局

具体的な取り組み ③-B-4 生産者や流通関係者による、情報発信や産地を盛り立てる活動を応援します

・生産者が地産地消推進、地域活性のために実施する栽培指導、体験ツアー、料理教室等への支援

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	地場の原料を使用した加工品の開発	一般市民	・宮城県産品を利用した商品開発を継続して行う ・「食のみやぎ復興ネットワーク」を結成し、宮城県内の農業・漁業関係者や食品関連産業が、互いに励ましあい、県内素材を使った地元加工品の商品開発を行う	通年	・仙台白菜の浅づけ、仙台白菜のこくうまキムチ（期間限定発売）を供給しました。 ・「食のみやぎ復興ネットワーク」を結成し、宮城県内の農業・漁業関係者や食品関連産業が、互いに励ましあい、県内素材を使った地元加工品の商品開発を行う。「食のみやぎ復興ネットワーク」参加団体2016年1月5日現在[240団体] ・東北地方の震災復興と地域振興を目的に立ち上げた新ブランド「古今東北（ここんとうほく）」商品が登場。東北6県からえりすぐりの食材、加工品など38品目が開発・発売された。「つるんと巨理そば」など古今東北商品として再登場。	宮城県生活協同組合連合会（みやぎ生協）

2	あいごはんアイデア集作成 《①-A-3再掲》	組合員	組合員から寄せられたあいづらんど商品を使ったアイデアを募集し、そのアイデア集を作成し、組合員に配布する。	通年	希望者に配布	宮城県生活協同組合連合会（あいこーぷみやぎ）
3	地元野菜を取り入れた弁当の考案・販売	一般の方々	女子大生とオジマスカイフーズ穂野かとの共同事業を展開。女子大生が地元の野菜や魚介類を取り入れた弁当を考案し、穂野かが作製した秋の行楽弁当販売を展開した。レシピを考える際には被災地復興支援と野菜不足解消の一助となるように地産地消を意識して旬の野菜を豊富に使用した。	10月5-17日	3種類の考案弁当を日替わりで2種類ずつの期間限定販売	仙台白百合女子大学
4	地産地消推進サポーター事業	一般市民	・直売やイベントを通して市内産の農産物を販売することやHPでの活動紹介で地産地消を推進する。	随時		経済局
5	エコファーマーフェア	一般市民	・仙台市内のエコファーマーが栽培した農産物の販売	H27.11.12~13 1回	延べ8店舗出店	経済局
6	米オーナー事業	一般市民	・市民が米のオーナーとなり、農家の指導を受けながら米の栽培を行い、収穫した米を受け取る。 田植え、生育見学、稲刈り	市内3ヶ所 田植え 5月 生育見学会 8月 稲刈り 9~10月	田植え等体験ありオーナー計33名 体験なしオーナー 計5名	経済局 仙台市認定農業者連絡会 仙台市産業振興事業団
7	保育所等サンマ教室への協力	保育所等入所児童・中学生	・おさかな普及協会が、保育所等に出向き、サンマの炭火焼を体験させ、子供達の魚食への興味と関心を深めてもらう ・おさかな普及協会が、中学校に出向き、サンマのつみれ汁教室を開催し、中学生に魚食への興味と関心を深めてもらう	実施時期 9~11月 実施回数 14回	保育所 203名 中学校 591名 提供サンマ数 966尾	経済局 (事業主体：仙台おさかな普及協会)
8	生産者による出前授業への協力	保育所等入所児童・小学生	保育所や小学校の授業の一環として、生産者が保育所や小学校に出向き、農産物等の生産・流通現場について直接子供たちに話をすることにより、食の大切さを伝える。	①10月23日 ②11月20日 ③2月10日 ④3月26日	①保育所 約90名 小学生 約180名 ②小学生 約80名 ③保育所 約100名 小学生 約80名 ④5~6歳児 約50名	経済局 (事業主体： ①, ③, ④東北地区青森りんごの会 ②仙台やさいくだもの普及会 ・ホクレン)
9	Morning Vegetable~朝食に野菜を~のレシピ配布	一般市民	・食育推進連携事業の一環として、たいはく朝市の来場者に、販売される旬の野菜を使った野菜料理レシピを、朝市の出店者を通して配布する	4~12月 (月2回)	レシピ19種延べ980枚発行	太白区保健福祉センター

推進の柱④ 食品を選ぶ確かな目を持とう

取り組みの方向性 ④-A 食品の安全性に関する正しい情報を積極的に伝えます

具体的な取り組み ④-A-1 食品の安全性に関する情報を広く発信するとともに、正しい知識を学ぶ機会をつくります

- ・パンフレットでの情報提供や街頭での呼びかけ
- ・地域への出前講座や食の安全サポーター、一般消費者向けの講座等
- ・食品の安全性に関する相談

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	消費者市民講座 食品表示について	一般市民	食品表示制度改正について学ぶ 講話 食品の表示について ～食品表示法施行による改定点と留意のポイント～ 講師 青葉区保健福祉センター衛生課 兵藤康紀さん	12月7日(月) 1回実施	参加者7人 平成27年4月1日より食品表示法が施行、新制度が始まった。 主な変更点 ・アレルギー表示のルール改善 ・加工食品の栄養成分表示の義務化	仙台・みやぎ消費者支援ネット
2	広報誌「ゆたかなくらし」の発行	一般市民	・消費生活に関連する様々な情報の提供。	年6回発行	発行時期：5、7、9、11、1、3月 発行部数：@9,000部×6回（5,7月は1,000部増刷）予定	市民局
3	ホームページによる 情報提供	一般市民	・食品表示に関する情報の提供。	随時	随時	市民局
4	消費生活センター内 情報コーナーでの情報発信	一般市民	・行政機関や、各種団体の啓発資料等を設置し、情報提供の場とする。	随時	随時	市民局
5	食品に関する講座等の開催 《①-A-1 再掲》	一般市民	・食品や食育に対する意識啓発を目的に、食に関する様々な情報を発信する。 ○消費生活講座の開催	10月28日	テーマ：「味噌の知識をまるごと吸収！ ～「こうじ」に触ってみませんか？～」 参加者数：84人	市民局
6	仙台市オリジナル消費者教育教材の製作・配布	一般市民	・幼児期から成人まで、発達段階に応じて消費生活の知識を楽しく学べる消費者教育ウェブサイト「伊達学園」において情報提供を行う。また、学校における消費者教育をより一層支援する目的でお金の使い方、地産地消などを学ぶ小学校高学年向けの新教材を掲載する。	2月末更新	随時	市民局
		小・中学生	・子ども達が消費生活について関心を持って学べるリーフレット等を製作し、市内の小中学校に配布。 ①めざせ！買い物名人（小学校高学年用リーフレット） ②めざせ！賢い消費者 伊達なくらし入門（中学生用副読本）	年1回 （3月）	配布部数 ①10,500部 ②10,500部	

7	給食用食材の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・保育所・学校における給食用食材の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	6月～3月	【子供未来局】 保育所給食用食材サンプル検査 214件 掲載 保育所給食1食全体検査 252件 掲載	子供未来局 教育局
8	食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	【経済局】 検体数 44 (野菜24、林産物20)	【経済局】 検体数44 (野菜24、林産物20)	健康福祉局 経済局 各区保健福祉センター
9	給食用食材の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・保育所・学校における給食用食材の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	通年	使用する食品の検査結果、給食一食検査結果を随時発信	子供未来局 教育局
10	食品の放射性物質検査および情報発信	一般市民	・農水産物、畜産物等の放射性物質検査を実施し、ホームページ等で広く市民に情報発信する	通年	438件実施 (各区保健福祉センター、食品監視センター、食肉衛生検査所)	健康福祉局 経済局 各区保健福祉センター
11	食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発	一般市民, 食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	食の情報館(詳細及び概要版)6000部, 手洗いポスター500部, パンフレット4種計8000部作成 随時配布	健康福祉局 各区保健福祉センター 宮城総合支所
12	ホームページによる食品衛生情報の提供	一般市民, 食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
13	食品の安全性に関する講演会の開催	一般市民	・食品の安全性に関する講演会の開催	H28年1月	平成28年1月13日「食の「安全」を考える～国産品は安全?輸入品は危険?～」 149名参加	健康福祉局 各区保健福祉センター
14	食品の安全性に関する講習会の実施	一般市民	・市政出前講座(担当テーマ:安全・安心の食生活)における食品衛生情報の提供 ・市民向け食品衛生講習会の実施	申込みの都度	市政出前講座:8回、224名 市民向け食品衛生講習会: 36回、714名	健康福祉局 各区保健福祉センター
15	食品の安全性等に関する相談対応	一般市民	・食品の安全性や表示等に関する電話相談、問い合わせ等への対応	随時対応	随時更新	健康福祉局 各区保健福祉センター
16	せんだい食の安全サポーター制度	せんだい食の安全サポーター	・せんだい食の安全サポーター会議における食品衛生情報の提供	年5回	5回実施	健康福祉局 各区保健福祉センター
		せんだい食の安全情報アドバイザー	・「食肉まつり」における食品衛生普及啓発活動 ・市政出前講座における食品衛生普及啓発活動 ・農業生産現場(地産地消推進サポーターの農場)の見学	6月13日 7月24日 10月28日	参加者 6名 1名 10名	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ④-A-2 食品の安全性確保のための監視指導を行います

・食品営業施設，給食施設を対象とした監視指導

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	給食施設立入検査	特定給食施設 条例に基づく 給食施設	・健康増進法に基づく特定給食施設，条例に基づくその他の給食施設に対する，栄養管理，衛生管理指導	通年	特定給食施設：141件 その他の給食施設：132件	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	食品衛生監視指導計画の策定と実施	食品等事業者	・食品衛生監視指導計画に基づく食品等営業施設の監視指導の実施	通年	82,011件	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ④-A-3 食品関係業者に向けて食品の安全性に関する情報を発信します

・ホームページやファクシミリによるタイムリーな情報の提供

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	ホームページによる食品衛生情報の提供 《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・ホームページによる食品衛生情報の提供	随時更新	随時実施	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	ファクシミリによる食品衛生情報の提供	食品等事業者	・ファクシミリによる食品衛生情報の提供	随時実施	104回，8,494件	健康福祉局 各区保健福祉センター
3	食中毒防止等のパンフレット、ポスター配布による啓発《④-A-1 再掲》	食品等事業者	・食中毒防止等のパンフレットやポスターの作成、配布 ・食品衛生情報誌「食の情報館」配布	随時実施	食の情報館（詳細及び概要版）6000部，手洗いポスター500部，パンフレット4種計8000部作成 随時配布	健康福祉局 各区保健福祉センター

具体的な取り組み ④-A-4 食品関係業者を対象に食品の安全性に関する講習を行います

・食中毒の危険性の高い食品を取り扱う業者を対象とした業種毎講習会

	事業名	対象者	実施内容	実施時期・回数等	参加者数・状況等	担当主体・局
1	食品等事業者に対する衛生講習会の実施	食品等事業者	・食品等事業者等に対する衛生講習会の実施	随時実施	89回，3,267名	健康福祉局 各区保健福祉センター
2	食品等事業経営者セミナーの開催	食品等事業者	・食品等事業経営者セミナーの開催	7月14日実施	194名参加	健康福祉局 各区保健福祉センター